

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	哲学特論 I	
科目基礎情報							
科目番号	30AG2001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	専攻科一般科目			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	堀栄造著,『フッサールの脱現実化的現実化』,晃洋書房,2006年.						
担当教員	堀 栄造						
到達目標							
(1) 学問的方法論は,学問にとって生命線ともいべきものである.フッサールの現象学の学問的方法論の形成を学ぶことによって,学問にとっての方法論の意義や重要性を理解する. (2) 哲学的文章を通して西洋的思考および西洋の文化に接し,地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	学問的方法論の意義を十分に理解できる.			学問的方法論の意義をある程度理解できる.		学問的方法論の意義を理解できない.	
評価項目2	多面的に物事を十分に考えることができる.			多面的に物事をある程度考えることができる.		多面的に物事を考えることができない.	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A1) JABEE 1(2)(a)							
教育方法等							
概要	現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサールの創始した現象学の学問的方法論である現象学的還元が,どのように着想され,どのような構造をもち,どのような意義をもつのかを学ぶ.授業全般を通して,学問にとっての方法論の重要性を理解させるとともに,哲学的思考力の養成に努める.						
授業の進め方・方法	フッサールの現象学的還元という哲学的方法の形成過程の展開,つまり,心理学主義的立場,反心理学主義的心理学,反心理学主義的イデア学,現象学的イデア学,還元思想の萌芽の生成,実在的次元からの脱却の萌芽,現象学的反省の可能性,空想における反省,現象学的還元の着想,現象学的統覚,現象学的エポケーの着想,反省領域全体の非顕在化,等について学習する.						
注意点	ノートをしっかり取り,十分に復習すること.						
評価							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	心理学主義的立場		心理学主義的立場について理解できる.		
		2週	反心理学主義的心理学		反心理学主義的心理学について理解できる.		
		3週	反心理学主義的イデア学		反心理学主義的イデア学について理解できる.		
		4週	現象学的イデア学		現象学的イデア学について理解できる.		
		5週	還元思想の萌芽の生成		還元思想の萌芽の生成について理解できる.		
		6週	実在的次元からの脱却の萌芽		実在的次元からの脱却の萌芽について理解できる.		
		7週	現象学的反省の可能性		現象学的反省の可能性について理解できる.		
		8週	空想における反省		空想における反省について理解できる.		
	2ndQ	9週	前期中間試験				
		10週	前期中間試験の解答と解説 現象学的還元の着想		現象学的還元の着想について理解できる.		
		11週	現象学的統覚		現象学的統覚について理解できる.		
		12週	現象学的エポケーの着想		現象学的エポケーの着想について理解できる.		
		13週	反省領域全体の非顕在化		反省領域全体の非顕在化について理解できる.		
		14週	志向的構成と存在的現象		志向的構成と存在的現象について理解できる.		
		15週	前期期末試験				
		16週	前期期末試験の解答と解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0